

Title	Riemann 面ノ型二就テ
Author(s)	吉田, 徳之助
Citation	全国紙上数学談話会. 220 p.381-p.383
Issue Date	1941-07-30
oaire:version	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/74879">https://doi.org/10.18910/74879</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 949. Riemann 面ノ型ニ就テ

吉田 徳之助 (海軍機関學校)

有限個ノ Grundpunkt 上デノミ分岐シ、ソレ等ガ  
スミテ幾數的デアルヤウナ Riemann 面ノ型ニツイテ考ヘ  
マシタ。コノ種ノ Riemann 面ノ型ハソノ Verzwei-  
gungsstärke ガケカラ判定シ得マセン。構造上更ニ本  
質的ナル性質ヲ必要トスルノデス。ソレガ何デアルカ小林先  
生ハ或ル特定ノ條件ヲ満足スルモノニツイテハ Heuristica  
ノ級數ノ收斂性ガ完全ナル型ノ判定條件タリ得ルコトヲ述ベ  
テキアレマス。コレニ關聯シテニ述ベタイト思ヒマス。

Riemann 面  $W$  ノ位相樹木  $T$  ノ  $n$  次節点ノ個數ヲ

$$\mu(n), \sigma(n) = \sum_{k=1}^n \mu(k) \text{ トスル。先ツ } W \text{ ヲ角谷氏ノ方法}$$

ニ従ツテ面  $\Sigma$  ニ寫像スル。 $\Sigma$  ハ  $\zeta (= \xi + i\eta)$  平面ノ第一  
象限上ニアルモノトシ、コレヲ直線  $L_n: \xi + \eta = n$  ( $n = 1, 2, \dots$ )  
ニ沿ツテ切断スル。

$L_n$  ト  $L_{n+1}$  トノ間ニアル  $\Sigma$  ノ部分  $\Omega_n$  ハ有限個ノ  
梯形及ビ三角形ガツナガツテ出来テキテソノ内周ノ長サハ  
 $2\sqrt{2}\sigma(n)$ 、外周ノ長サハ  $2\sqrt{2}\sigma(n+1)$  デイル。 $\Omega_n$  ノ  
梯形及ビ三角形ヲソノ外周ニアル辺ガ  $\frac{\sigma(n)}{\sigma(n+1)}$  倍ニ縮小スル  
ヤウニ変換スル。

コノ変換ニテ Dilatations-quotient ノ常數ヲ除  
キ  $\left(\frac{n\mu(n)}{\sigma(n)}\right)^2$  以下トナル。コレニ新シリ出来タ梯形及ビ三

角形を必要ならば *relative displacement* を行つて  
 モトノ順ニツナギ合セルトキ長さの  $(n)$  幅ノナル矩形ヲ得ル。  
*relative displacement* 1 際, *dilatations-*  
*quotient* ハ有界デアルトスル。コノ場合 *Riemann* 面  
 $W$  ハ殆ンド對称ニ合致スルトイフ。コノ條件ハ *almost*  
*homogeneous* トイフ條件ヨリ幾分強い條件デアル。コ  
 ノニ得ル矩形ヲ例ニヨツテ  $\frac{1}{\sigma(n)} = \text{縮小シ } n \text{ノ順ニ並べて}$   
*Teichmüller*ノ議論ヲ用ヒレバ

級数  $\sum \left\{ 1 + \left( \frac{n\mu(n)}{\sigma(n)} \right)^2 \right\} \frac{1}{\sigma(n)}$  が収斂スレバ  $W$  ハ双曲  
 的デアル。

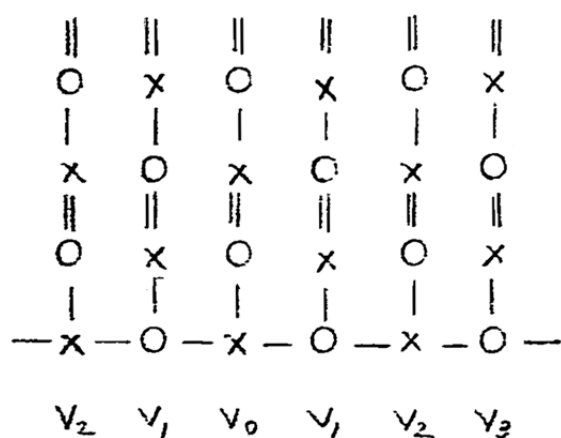
ト言ヒ得ル。従ツテ *Hevanlinna*ノ定理ト合セテ

$\frac{n\mu(n)}{\sigma(n)}$  が有界デ且ツ殆ンド對称ニ合致スル *Riemann*

面ガ拋物的デアルトメ、必要且ツ十分ナル條件ハ *Hevan-*

*linna*ノ級数  $\sum \frac{1}{n\mu(n)}$  が発散スルコトデアル。

ト言ヒ得ル。



圖, 如キ位相樹木ヲモツ

*Riemann* 面ハ *almost*

*homogeneous* デ, コレ

ニ對シテ *Hevanlinna*

ノ級数ハ収斂スルガ殆ンド

對称デハナイ。一般ニ位相

樹木  $T$  ガコレト位相的ニ合同ナル *Riemann* 面  $W$  ヲ考ヘル。

$T$ ノ一枝点  $V_0$  ヨリコレニ續ク枝点ヲ順次  $V_1, V_2, V_3, \dots$

ト名付ケル。相隣レル  $\sqrt{n-1}$  ト  $\sqrt{n}$  トノ距離ノ大キイ方ヲ  $\varphi(n)$ ,  
 $\psi(n) = \max(\varphi(1), \varphi(2), \dots, \varphi(n))$  トスルトキ

級数  $\sum \frac{1}{n\psi(n)}$  ガ発散スルトキ Riemann 面ハ拋物

的デアアル。

コトガ証明出来ル。従ツテコノ種ノ Riemann 面ニ對シテ  
 ハ Heurhlinna ノ定理ガ限度ヲ示スモノデアナイ。

( ) コノ種ノ Riemann 面ハスベテ拋物的デアナカ  
 ラウカトハ曾テ小林先生カラ提出サレタ問題デス。未ダ完全  
 ニハ解ケマセン。上ノ証明ハ省略シマシタ。